

OpenRTM-aist (C++) - バグ #2160

msiのインストールパスの変更 (1.0との共存のため)

2011/06/08 16:53 - n-ando

ステータス:	終了	開始日:	2011/06/08
優先度:	通常	期日:	
担当者:	n-ando	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			
説明			
msiのインストールパスの変更 (1.0との共存のため)			

履歴

#1 - 2011/06/16 22:44 - n-ando

- 進捗率 を 0 から 30 に変更

現在は以下の環境変数がセットされる

- RTM_ROOT /bin
- RTM_ROOT /utils /rtc-template
- OMNI_ROOT /bin /x86_win32
- OPENCV_ROOT /bin

RTM_ROOT, OMNI_ROOT, %OPENCV_ROOT%がセットされていれば、これによってPathの内容が影響を受ける。
これらは、すべて展開したうえでPathに追加すべきか？

#2 - 2011/06/17 21:45 - n-ando

- ステータス を 新規 から 終了 に変更

- 進捗率 を 30 から 100 に変更

- PATHに設定されるパスを環境変数RTM_ROOT, OMNI_ROOT, OPENCV_ROOTを含まないように修正した。
- スタートメニューのフォルダ名をOpenRTM-aistのみから、OpenRTM-aist x.y のようにバージョン名を入れるように修正した。
- RTSystemEditor
のWorkingdirがスタートメニューを指していたので、これをRTSEのインストールディレクトリを指すように、かつワークスペースも%USER_P
ROFILE%/workspace に変更した。

現在、1.0と1.1は同じバージョンのomniORBを使用しているため、これらの共存はたまたまうまくいっているが、1.0はPATHの%OMNI_ROOT%を含んでいるため、将来的に1.0と異なるomniORBを使用しているバージョンがインストールされた場合には、1.0用のomniORBのDLLへパスが通らなくなるため、コンポーネントの実行ができなくなる。

#3 - 2015/07/10 23:34 - n-ando

- 対象バージョン を 削除 (RELEASE_1_1_0)